

2022年1月18日

横浜市長
山中 竹春様

カジノを考える市民フォーラム共同代表
一般社団法人勁草塾代表理事 齋藤 勁
横浜地方自治研究センター理事長 岡 真人
生活クラブ運動グループ横浜未来アクション
共同世話人 若林 智子

【「内港地区の将来像の検討」と「山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定」に向けた意見募集等の開始について】に関わる質問

日頃、市民の先頭に立たれ、市民生活を守るため、ご奮闘されている貴職に、深く敬意を表します。

さて、私たち「カジノを考える市民フォーラム」は、昨年11月25日付けで、市長宛てに「カジノ・IR事業に関する検証を求める要望書」の提出を行い、12月9日に回答をいただきました。

その上で、12月23日に横浜市が記者発表いたしました【「内港地区の将来像の検討」と「山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定」に向けた意見募集等の開始について】に関わり、以下、私共の現時点での疑問点につきまして、横浜市としての考え方をお伺いしたく、ここに質問いたします。

最後に、市長におかれましては、新型コロナ・オミクロン株による感染が拡大

する中で迎えた2022年ですが、引き続き市民の命と暮らしを守るため、ご活躍されることをお願いいたします。そして、市民を信頼し新たな視点に立った横浜創りを、市民と共に苦楽を分かち合いながら、進めていただきたいと考えています。

現時点での疑問点について（質問）

山中市長は就任直後の9月10日市会本会議でIR事業の誘致撤回を表明されました。この事は、長きにわたるカジノ・IR事業の廃止や住民投票条例を制定し賛否を決めるべきとの粘り強い市民運動が結実したものと大いに評価するものであります。

その上で、現時点で以下の疑問点について、お答えください。

(1) 私たちは、昨年11月25日、横浜市長宛てに「カジノ・IR事業に関する検証を求める要望書」を提出しました。そして、この要望書に対する回答書を12月9日受け取りました。

私たちは行政自らが検証することは勿論、第三者委員会の設置を検討すべきと求めましたが、回答は「外部有識者の方からご意見をいただく事を予定している」に止まっています。このままでは、市民の期待に応える検証作業になるのか行方が不安です。

(2) 「内港地区の将来像の検討と山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定に関する意見募集等」を、何故性急に開始するのか理解できません。本来、上記の検証結果が発表され、市民と共にその内容が共有されてから開始すべきであると考えます。

(3) また、「市民等の皆様からの意見募集」と「民間事業者の皆様からの開発に関する事業提案募集」を同時に行う手法は、甚だ理解に苦しむものです。カジノに反対する多くの市民から誕生した山中市長であるからこそ、まずは市民の声に耳を傾けることを先行すべきです。そして、その市民の声を反映した事業提案を募集するべきと考えます。

(4) 現在「新型コロナ」が世界や日本の経済・社会に大きな影響を与えている動向等を勘案するならば、横浜市都市臨海部マスタープラン（2015年2月策定）自体の再検討が先ではないでしょうか。

特にカジノ・IR事業は、マスタープランの中でイメージされ事業計画化されてきたものです。先ずは、時間をかけて、多くの声を聞きながら、このマスタープランの見直しを行うべきと考えます。